

ふくい街角景気速報

(平成29年8月分)

調査期間 平成29年8月10日～24日 (回答率：90%)

概況

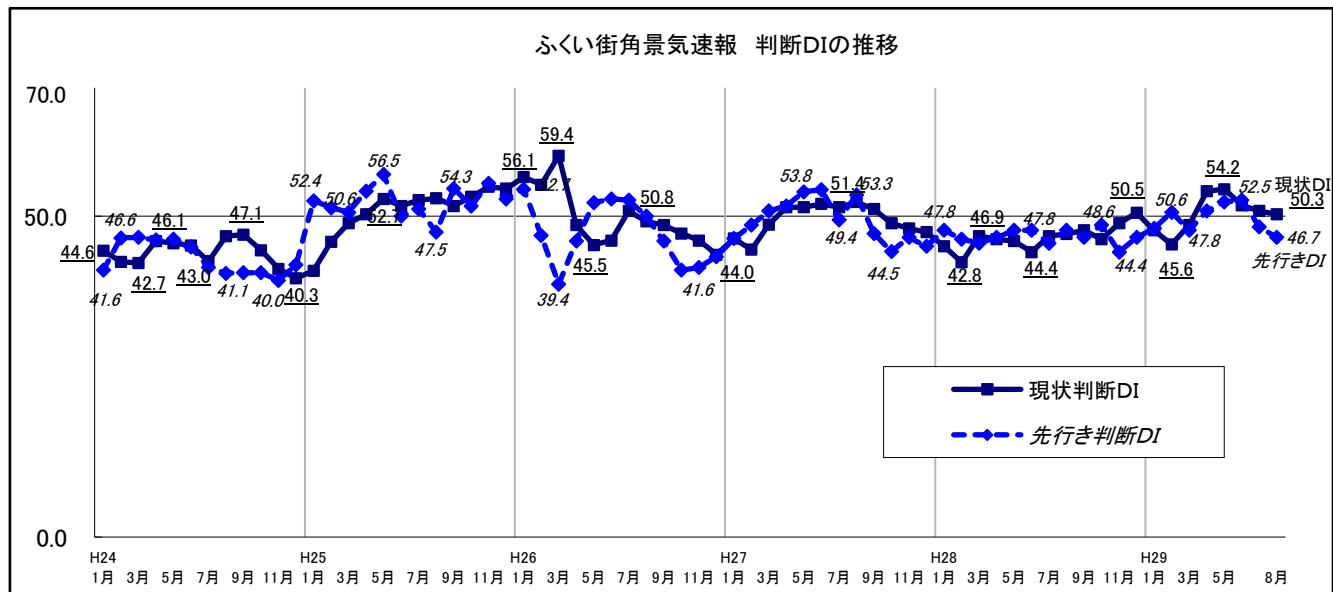
景気の現状判断DIは50.3となり、前月と比べ0.5ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは46.7となり、前月と比べ1.6ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 50.3 (前月比 ▲0.5)

- 家計動向関連では、前月に比べ1.7ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ1.6ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ5.8ポイント低下した。
- (意見の主な内容)
- 夏休み真っ只中で、売上・客数共に上昇。お盆需要でオーダブルの注文も増加している。(観光物産店)
- 4-6月と比較すると受注の改善の兆しが見えるが、相変わらず厳しい国内小売市況もあって、ユニフォーム関連を除く衣料関連に勢いが無い。(繊維製造業)

■景気の先行き判断DI 46.7 (前月比 ▲1.6)

- 家計動向関連では、前月に比べ0.1ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ1.4ポイント低下した。
- 雇用関連は、前月に比べ7.7ポイント低下した。
- (意見の主な内容)
- 8月の天候不順、日照不足により農作物の相場が高騰し、売上に影響があると予想される。(スーパー)
- スマホの新モデルの立ち上がりに向け、主要顧客からの需要の回復が見込まれる。(電気機械製造業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H29 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		48.6	53.9	54.2	51.7	50.8	50.3	▲0.5
家計動向関連		48.4	51.1	54.5	48.3	48.9	50.6	+1.7
小売		45.2	50.0	53.9	50.0	48.4	50.0	+1.6
飲食		66.7	50.0	75.0	25.0	75.0	50.0	▲25.0
サービス		52.1	54.2	54.5	47.7	45.8	52.3	+6.5
企業動向関連		46.1	53.8	51.5	53.0	50.8	49.2	▲1.6
製造業		42.0	52.2	53.3	55.4	47.8	48.9	+1.1
非製造業		55.0	57.5	47.5	47.5	58.3	50.0	▲8.3
雇用関連		55.8	63.5	59.6	59.6	57.7	51.9	▲5.8

○回答別構成比

	年 月	H29 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなっている		1.1%	3.3%	3.3%	2.2%	3.3%	3.3%	+0.0
やや良くなっている		16.5%	25.6%	27.8%	23.3%	20.0%	18.9%	▲1.1
変わらない		61.5%	55.6%	53.3%	55.6%	56.7%	53.3%	▲3.4
やや悪くなっている		17.6%	14.4%	13.3%	16.7%	16.7%	24.4%	+7.7
悪くなっている		3.3%	1.1%	2.2%	2.2%	3.3%	0.0%	▲3.3

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H29 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		47.8	50.8	52.2	52.5	48.3	46.7	▲1.6
家計動向関連		50.5	50.0	50.0	51.1	45.0	44.9	▲0.1
小売		50.0	51.6	50.0	50.8	45.2	46.0	+0.8
飲食		66.7	50.0	50.0	50.0	25.0	37.5	+12.5
サービス		47.9	45.8	50.0	52.3	47.9	43.2	▲4.7
企業動向関連		41.4	50.0	51.5	51.5	48.4	47.0	▲1.4
製造業		40.9	51.1	53.3	52.2	46.7	44.6	▲2.1
非製造業		42.5	47.5	47.5	50.0	52.8	52.5	▲0.3
雇用関連		53.8	55.8	61.5	59.6	59.6	51.9	▲7.7

○回答別構成比

	年 月	H29 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	1.1%	3.3%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなる		15.4%	22.2%	26.7%	18.9%	20.0%	14.4%	▲5.6
変わらない		57.1%	53.3%	53.3%	63.3%	48.9%	54.4%	+5.5
やや悪くなる		22.0%	21.1%	17.8%	13.3%	26.7%	25.6%	▲1.1
悪くなる		3.3%	1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	3.3%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	福井	小売店	セール売出企画がヒットしたため、売上が増加している。
		福井	観光物産店	夏休み真っ只中で、売上・客数共に上昇。お盆需要でオーダブルの注文も増加している。
	企業 動向	福井	一般機械	先月に引き続き、当社の客先である建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需により、2017年1月頃より国内生産が好調である。
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	小売店	県外からの観光客の増加に伴い売上が伸びている。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	売上・買上客数・買上単価等の比較から。
		坂井	レストラン	夏休みのため、家族やグループでの来店により1テーブルの人数が上昇し、売上が伸びている。
		福井	ビジネスホテル	夏は繁忙期であるため客数は増加しているが、昨年対比では下がっている。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	春先よりは建材関係の需要期に入りつつあり、受注量なども増加傾向にある。
		丹南	食料品製造	お盆休暇が長かったせいか、例年よりお客様が多かった。
		福井	不動産	売上、受注共に上昇傾向である。顧客の購買意欲も旺盛である。
		嶺南	運輸	原子力発電所の関連業務が増加している。
③変わらない	家計 動向	嶺南	商店街	お盆に向けての準備、帰省された方のお買い物が増えている。買い回り品の単価は下がっているかもしれないが、客数でカバー出来ている。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	中元ギフトセンターは前年比で伸長しているが、店頭は苦戦。駅前スーパー閉店によるお客さまの取り込みも目に見える形とは言えず微増である。
		嶺南	スーパー	価格にシビアな傾向が続いている。お盆の期間中であっても必要な物以外に手が出ない。
		坂井	旅館	8月の利用者は例年より少々減少のみだから。
		福井	旅行代理店	海外情勢の不安が続いているため。
	企業 動向	奥越	繊維	4-6月と比較すると受注の改善の兆しが見えるが、相変わらず厳しい国内小売市況もあって、ユニフォーム関連を除く衣料関連に勢いが無い。
		福井	眼鏡	例年好調であるシーズン商品の売上が上がらず、定番商品が好調であり、プラスマイナス例年通りという状況である。季節感のある商材の売り上げがとても不安定な状況にある。
		丹南	鉄鋼	全体の売上や受注状況など前年と比べ大きく変わっていない。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	西口再開に伴うスーパー等の退店があり全体的に低迷している。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	取引先の生産量縮小に伴い百貨店婦人衣料の仕入高が減少している。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	7月中旬、大手100円ショップがオープンし、全館客数は昨年と比べ増加したが、個店毎みると半数以上が売上100%を割っている。
		坂井	観光物産店	8月は繁忙期であるが売り上げが思わしくない。
	企業 動向	福井	繊維	市場の動きがなく、受注が減少している。
		嶺南	食品	輸入原料やさんま等国内産の魚も漁獲量の減少により相場高となり、厳しさが予想される。
		福井	石油関連製品販売	車での行楽が減っているように思われ、他県の石油製品の安売りにより福井県での購入が減少している。
		嶺南	コンクリート製品	公共事業の減少や民間活力の低下。
雇用	福井	就職情報誌	飲食業の取引先などは、野菜高騰、人手不足などにより原材料費、人件費アップと苦しんでいる企業が多くあるため。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	企業 動向	丹南	電気機械	スマホの新モデルの立ち上がりに向け、主要顧客からの需要の回復が見込まれる。
②やや良くなる	家計 動向	丹南	商店街	季節が変われば、来店客数は増えてくると思う。和服の場合は10月～5月が主な販売期間となるため。
		嶺南	商店街	10、11月に商店街賑わいイベントを開催し、新規顧客さんを確保する予定です。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	秋物、10周年祭に向けて売上増加を目指していきたい。
		嶺南	スーパー	最低賃金の上昇や、原発再稼働の影響を考慮して。実質賃金が下がっているのが厳しいとも思いますが。
		嶺南	大型小売店	暖房機シーズンに入るため。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	建材関係は秋の需要期になるため。
		福井	不動産・建設	閑散期から通常期になるため。
嶺南		運輸	発電所業務が増加している。	
③変わらない	家計 動向	福井	商店街	要因は多く有るが、秋季イベント等盛りだくさん有るので低迷止まりとなると予想。
		福井	小売店	季節の変わり目に売上や客数に多少の増加は見込まれるが、大きな変化は見込まれない。
		福井	小売店	29年産の米は単価が上昇し、売上が心配である。
		福井	観光物産店	秋に入り食べ物が美味しい季節になるため、現在に引き続き好調を維持できると思う為。
	企業 動向	奥越	繊維	輸出では為替が円高に動いていること、国内では百貨店関連の衣料・ファッションの動きが相変わらず悪く、衣料関連を中心に産地の受注確保に苦戦が強いられそうである。ユニフォーム関連および産業資材向けについては堅調に推移しそう。
		丹南	繊維	国内外の政治状況が不安定のため、先行きに関する不透明感が強い。
		福井	一般機械	当社の客先である建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需により、2017年8月までの国内生産は好調で、9月以降はこの反動で減少する見込みであったが12月頃まで引き続き好調である見通しとなっている
		福井	IT関連	受注見通しの比較により判断。
		福井	不動産	世界情勢及び周辺経済状況を鑑みるに、より一層の上昇を見込める程明るくはない。
		④やや悪くなる	家計 動向	福井
丹南	百貨店、ショッピングセンター			夏の気温が高かった為、今夏は売上が良かったのではと考える。秋は平年並みに戻ると予想している。
奥越	百貨店、ショッピングセンター			永平寺間自動車道開通で、市外消費額が増え、地元消費額が減っているのではないかと。夏休みの恐竜観光者は歓迎だが、市街地消費には繋がっていない。
福井	スーパー			8月の天候不順、日照不足により農作物の相場が高騰し、売上に影響があると予想される。
福井	自動車販売・整備			天候不順、北朝鮮のミサイル問題等々経済へ与えるマイナス要因が多く感じる。
坂井	旅館			9月以降の予約はたいへん落ち込んでいるから。
企業 動向	福井			眼鏡
	嶺南		食品	これからシーズンとなるカニの輸入量の減少、相場の高騰が確実にあり厳しい商戦となる。
	福井		石油関連製品販売	車の燃費も良くなり、ガソリンから電気への切り替えも増える。
⑤悪くなる	企業 動向		福井	就職情報誌
		丹南	眼鏡	受注量が減少し、生産能力を縮小している。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)